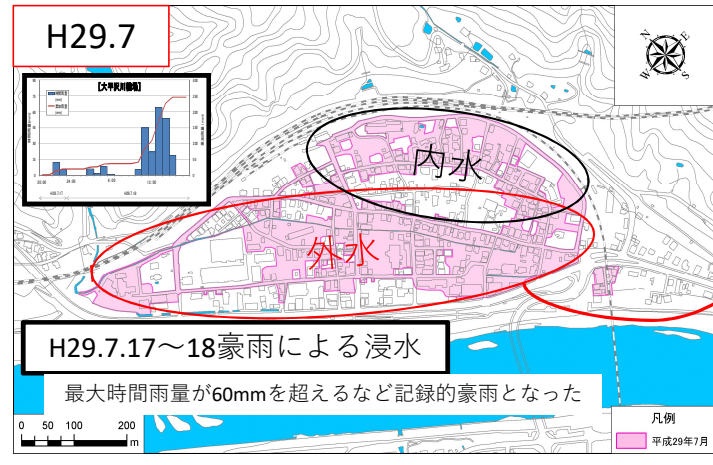
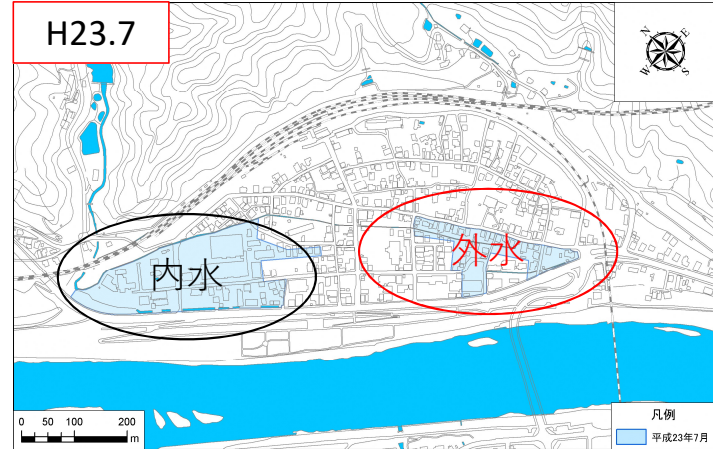
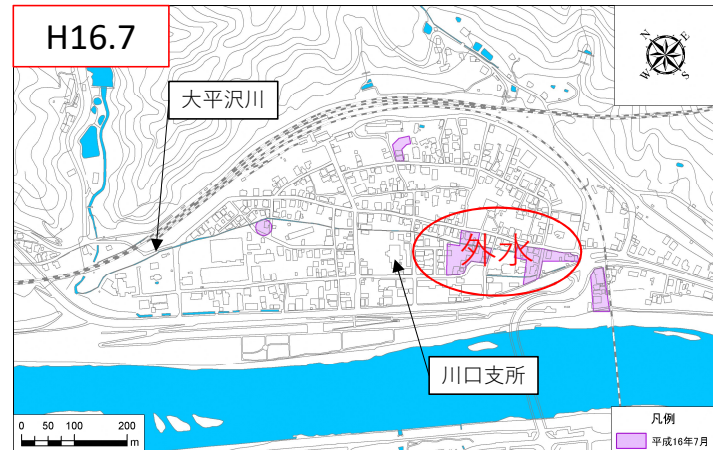


東川口市街地での主な浸水被害

（新潟県公表の浸水実績図より）



H29.7.17~18豪雨による浸水

最大時間雨量が60mmを超えるなど記録的豪雨となった

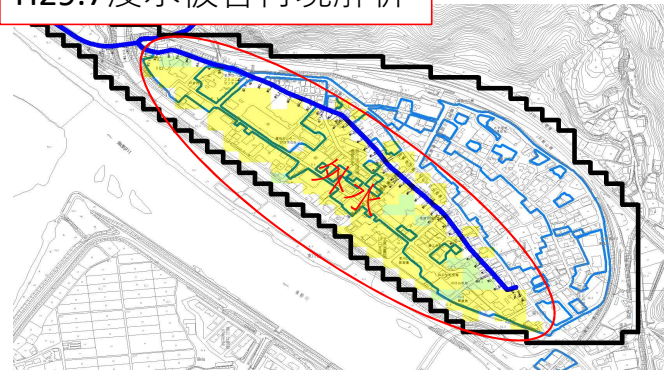


- 川口支所周辺では、集中豪雨により度重なる浸水被害が発生
- H29年7月の記録的豪雨では甚大な被害となり、東川口地区と市は治水対策を県に要望
- 県では、浸水被害の発生要因を分析し河川改修の効果を解析している
- 河川改修により、公共施設等の安全度が大きく向上する見込みとなる

河川改修による浸水被害解消・軽減の効果解析

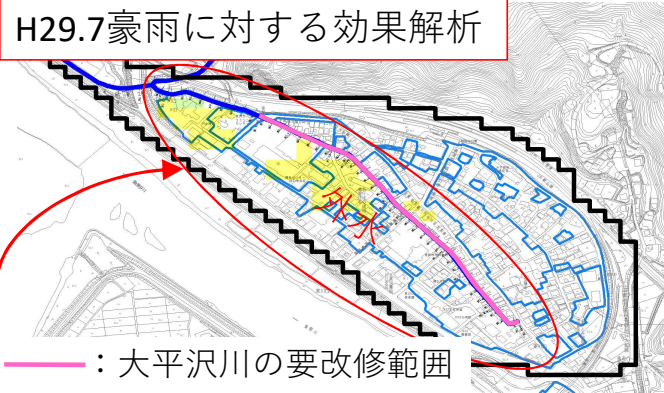
（出典：新潟県提供資料）

H29.7浸水被害再現解析



- 大平沢川から溢れたり接続水路から流入できないことが要因となって発生した浸水被害を、現況河川の条件で解析
- 外水要因での浸水被害を再現計算

H29.7豪雨に対する効果解析



降雨規模：約130mm/12h対応の河川改修を行った場合

- 河川改修後の条件で被害の解消・軽減効果を解析
- 住宅の床上浸水解消・床下浸水大幅減少となり、地区防災センターである川口公民館等の浸水解消が見込まれる

【用語の解説】

- ◆ 内水とは：地表の雨水が低地や窪地に滞留したり排水先となる河川等に流れ込めずに浸水すること
- ◆ 外水とは：護岸を越えたり堤防が決壊したりして河川の水が溢れ出して引き起こされる浸水のこと、対策としては、河道を広げ水が溢れないようにする河川改修が行われる